

2025 年 新年のご挨拶



剣淵町長

早坂 純夫



希望に満ちた新春を迎えられました町民の皆様にご心からご挨拶を申し上げます。

旧年中は、日頃より町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の天候推移は、春は適度に雨が降り、播種作業は例年並みのスタートでしたが、夏に入り平年より暑い夏でありました。

台風につきましても、10号の進路が心配されましたが、北海道上陸は免れ、結果として好天に恵まれ総じて作物の生育が平年より早く進む状況でありました。ゲリラ豪雨につきましては、ほ場の土が流される被害が一部あり、普及支援に努めたところであります。作物の生育は収量、品質ともに

良く豊穡の秋を迎え、天候もよく収穫が早く進み来春に向けての心土破砕や秋起こしの作業が余裕を持ってできた年でありました。

相変わらず肥料や燃料・飼料等の価格高騰が昨年から続いております、経営努力や地方自治体の施策には限界があるため、国の対策がさらに必要とされるところであります。

昨年、国の農業施策の基本法が改正され、本年は「食料・農業・

農村基本計画」が策定されます。町といたしましても、関係団体と連携を密にし、意欲の持てる国の制度設計と実りある対策を要望していかねばならないと考えています。

コロナ禍も、4年に及ぶ自粛生活により生活習慣が大きく変異し、経済とともに心の活性化が以前には戻りえない状況にあります。また、軽症とはいえ引き続き感染予防のご協力をお願いいたします。

さて、世界に目を向ければ、トランプ大統領の就任に伴い米中間の競争が経済・軍事・技術の各分野で激化する様相であります。

気候変動による、自然災害の頻発や食糧危機が世界規模で深刻化する予想され、自国保護主義が課題となり国家間の利害対立が顕著になると考えます。

国内においては、石破内閣の動きが注目される状況となっており、政治と金の問題や、待ったなしの災害復旧及び地方経済の振

興、過疎化対策、子ども政策等の動きが活発になり、党内外の調整力が試されることになると思います。

剣淵町は開基から126年目に入り、まちづくりは、自らが自主・自立して何ができるかを求められている時代であります。

自主性を重んじた社会参加と、コミュニティの力による共助が今まで以上に求められます。

新たな行政展開をするために、町民の皆様のまちづくりに対する広いご意見を頂戴し、厳しい町財政に深いご理解をいただき、活力ある「絵本の里けんぶち」のまちづくりに2025年も邁進（まいしん）したいと考えています。

今年一年、町民の皆様がご壮健にて、五穀豊穡の秋を昨年同様に迎えられるよう、ご祈念申し上げます。

剣淵町議会議長

高橋 毅



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、2025年の新年を健やかに迎えにいられたことに、心より喜び申し上げます。

日頃から皆様方には、町政や議会活動に特段のご理解とご協力をいただいていますことに議会を代表して心よりお礼を申し上げます。

世界はロシアによるウクライナ侵攻に続き、イスラエルとハマスの戦闘も収まらず、さらに韓国や北朝鮮、中国の動きも心配するところです。

戦争の影響は多くの物価高に

つながり、国民生活は苦しさを増しています。農業分野においても肥料、飼料、燃料など生産資材が高止りで、経営も厳しくなっています。紛争が早く終わり平和な世界が訪れることを願っています。

昨年の夏には2023年の猛暑の影響により、米の収穫量・流通量が減少したことで米価格が高騰につながり、基本食糧の重要性が再認識されました。

お米と同様、他の農産物も生産費を価格に反映されることを望みます。

国内の政治も総選挙で与党が過半数割れで野党や国民の声を真摯な態度で聞き、地方を重視し、農業、農村を守る政策が展開されることを望みます。農政の転換で水田活用直接支払交付金の見直し、畑地化の問題などがどのような推移していくのかも心配です。

基幹産業の農業の大切さが国にも伝わり、予算付けされれば若い農業後継者も安心して営農を続けられると思います。

昨年の農業は一昨年のような猛暑はなく比較的順調に推移し、品質、収量ともに畑作、水稻、野菜類も良かった年だったと思います。

農林業は、国土・農村・緑・水資源を守っているため、私は、第一次産業のことを「緑の自衛隊」と国会議員や知事、道議会議員にも訴えています。「緑の安全保障」の考え方も徐々に広まってきています。農村の支援者を増やすことを議会も関係機関と連携し、安心して住み続けられる農村づくりに力を注いでいきます。

商工業の皆様もコロナ禍の影響が尾を引き、ご苦労されたと思います。長年町民の暮らしを支えてこられた商店が、閉店されることは誠に残念でなりません。これまでのご苦労に心より感謝を申し上げます。町民の不自由を解消するための買物支援の輪が広がっていくことを期待します。プレミアム商品券の活用で地元の購買力が高まり、商工業の活性化に

つながればと思います。

議会では定数等議会改革特別委員会では協議の結果、定数を削減することとなりました。また、令和7年第1回町議会定例会から一般質問の映像をSNS等で流す準備を進めています。この取組によって議会に関心を持ち、町議に立起する方が増えることを期待します。

少子高齢化、人口減少の中、町理事者と協議し、課題解決に向けた努力をいたします。

先人たちが苦労を重ね、築いてこられた郷土を若者と次の世代に継いでいけるよう議会一致して力を合わせます。

結びに本年も災害のない豊稔の年であること、町民の皆様のご健勝ご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。